

コロナ禍の今考え直す御霊信仰の特徴－疫病・怨霊・御霊の関係史－

オンライン併用

101

【会場定員】150名 【オンライン定員】100名 【受講料】 2年会員 2,860円 1年会員 3,218円 聴講生4,290円

短期集中 【時間】毎回16時30分～18時00分 (計3回)

概要

コロナ禍の現在、通時代的に疫病の史的研究が進んでおり、「御霊信仰」が取り上げられることも少なくありません。これまでの研究は「怨霊（禍）を転じて御霊（福）となす」「怨霊の原因は疫病である」と説明してきました。では疫病の原因は常に怨霊とされたのでしょうか？怨霊は常に御霊に昇華されたのでしょうか？そうではありません。今だからこそ可能な「御霊信仰」の再定義をみなさんと共に行いたいと思います。

回	月/日(曜)	会場	学習内容	担当
1	4/6(木)	新百合 21ビル B2多目的 ホール	御霊信仰とはなにか？ -10世紀以前-	京都芸術大学 講師 共立女子大学 講師 佐々木 創
2	5/11(木)		怨霊とされたのは誰か？ -11世紀以降-	
3	6/15(木)		怨霊はいかに慰撫されたのか？ -怨霊文化史-	